

【万葉古代学係彙報】（令和2年1月～12月）

令和2年度

- 1月8日 講座「日本書紀をよむ」（会場：万葉文化館）で、松尾光氏（早稲田大学エクステンションセンター講師・当館研究顧問）が「敏達紀・用明紀——仏教の受難と受容」と題して講義。
- 1月10日 奈良テレビ「ゆうドキッ！」の取材に、井上さやか指導研究員（以下、井上研究員）が対応。（1月15日放送）
- 1月15日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、井上研究員が「儒教と仏教と（俗道悲嘆の詩）」を講義。
- 1月22日 NAFIC（なら食と農の魅力創造国際大学校）の「奈良学入門」講座において、井上研究員が「『万葉集』の世界」と題して講義。
- 1月24日 JAF 奈良支部会員優待施設交流会（会場：万葉文化館）において、井上研究員が「万葉集の基礎知識」について講演。
- 1月25日 奈良教育大学主催 ESD 研究会（会場：万葉文化館）に、井上研究員・大谷歩主任研究員（以下、大谷研究員）が参加。
- 1月25日 第82回万葉古代学講座（会場：万葉文化館）で、吉原啓主任研究員（以下、吉原研究員）が「天武天皇はなぜ富本銭を作ったか？－飛鳥池工房遺跡×日本書紀×万葉集－」と題して講演。
- 1月26日 井上研究員が古事記学会理事会（会場：國學院大學）に出席。
- 1月31日 一般展示室「万葉集と木簡 Part II」の展示替え（2月1日～2月27日、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により28日から閉室）。「万葉仮名が書かれた木簡」に関連する『万葉集』版本と木簡レプリカを展示。
- 2月1日 第83回万葉古代学講座（会場：万葉文化館）で、大谷研究員が「『万葉集』の恋歌の世界－万葉びとの歌の技－」と題して講演。
- 2月2日 邱愛傑海外研修員（以下、邱海外研修員）が飛鳥坐神社「おんだまつり」を見学。
- 2月8日 万葉古代学講座関連ミュージアムトーク（会場：万葉文化館）を大谷研究員と吉原研究員が実施（午前・午後の2回開催）。
- 2月9日 美夫君志会2月例会（会場：中京大学）において、井上研究員が「額田王の歌—春秋争い—」と題して研究発表。
- 2月12日 邱海外研修員の報告会（会場：万葉文化館）を実施。
- 2月15日 万葉文化館ボランティア研修において、井上研究員が「万葉集の基礎知識」の講師を務める。
第12回委託共同研究「万葉集の作歌をめぐる都市交通史的研究」（研究代表者：小鹿野亮氏）の第3回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。
- 2月16日 万葉文化館ボランティア研修において、大谷研究員と吉原研究員が実地研修Ⅲの講師を務める。
奈良市中部公民館主催の「トークイベント～知れば知るほど好きになる奈良 第6弾～」において、井上研究員が「『万葉集』と元号」について報告し、西山厚氏（帝塚山大学教授）、馬場基氏（奈良文化財研究所史料研究室長）と鼎談。

『万葉古代学研究年報』第19号(2021年)

- 2月19日 講座「万葉集をよむ」(会場：万葉文化館)で、吉原研究員が「老身重病の歌(897～903番歌)」を講義。
- 2月20日 公立大学協会図書館協議会近畿地区協議会主催の講演会(会場：奈良県立医科大学)において、大谷研究員が「大伴旅人梅花の詩歌」と題して講演。
- 2月22日 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」(研究代表者：橋本裕之氏)の第14回共同研究会を開催(会場：万葉文化館)。
- 2月23日 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」(研究代表者：橋本裕之氏)の第15回共同研究会を開催(会場：万葉文化館)。
- 2月24日 西本昌司氏(名古屋市科学館主任学芸員)を講師に迎え、講座「石材から見えてくる人と大地の物語」(会場：万葉文化館)を実施。井上研究員が司会を務め、万葉歌に詠まれた石について解説。
邱海外研修員が離任。
- 2月26日 明日香小学校2年生一行を吉原研究員と万葉文化館ボランティアが案内。
- 2月28日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(5月18日まで)。
※一般展示室・特別展示室・映像ホールは9月25日まで閉室。7月31日までに開催が予定されていた講座等は延期または中止。
- 3月12日 明日香村教育委員会による学校教材作成に協力。
- 3月13日 NHK Eテレ「趣味の園芸 万葉の花」の撮影取材に井上研究員が対応、出演(4月5日放送分、オープニング用画像)。大谷研究員が撮影協力。
- 3月14日 NHK Eテレ「趣味の園芸 万葉の花」の撮影取材に井上研究員が対応、出演(4月5日放送、4月7日・9日再放送)。
- 3月31日 吉原研究員が離任。
- 4月1日 竹内亮主任研究員(以下、竹内研究員)が着任。
- 4月4日 井上研究員出演のNHK ラジオ「ナイツの万葉のココロ～春編～」および「同～秋編～」再放送(令和元年5月・9月放送分)。
- 4月20日 NHK Eテレ「趣味の園芸 万葉の花」の撮影取材に大谷研究員が対応、リモート出演(第2回分：5月3日放送、5日・7日再放送／第3回分：5月31日放送、6月2日・4日再放送)。
- 4月22日 新型コロナウイルス感染拡大防止の一環で、竹内研究員が在宅勤務を開始(5月21日まで)。
- 5月1日 「万葉歌留多(簡易版)」をホームページに掲載。井上研究員・大谷研究員・竹内研究員が作成に協力。
- 5月10日 美夫君志会常任理事会(リモート開催)に、井上研究員が出席。
- 5月14日 NHK Eテレ「趣味の園芸 万葉の花」の撮影取材に大谷研究員が対応、リモート出演(6月14日放送、6月16日・18日再放送)。
- 5月27日 こども向け解説シートをホームページに掲載。大谷研究員が「『万葉集』ってなんだろう?—初級編—」、竹内研究員が「飛鳥池工房遺跡」の解説を作成。
- 6月2日 三郷町教育委員会一行が来館、井上研究員が対応。

『万葉古代学研究年報』第19号 彙報（令和2年1月～12月）

- 6月14日 美夫君志会常任理事会（リモート開催）に、井上研究員が出席。
- 6月23日 NHK Eテレ「趣味の園芸 万葉の花」の撮影取材に井上研究員が対応、出演（8月2日・9月20日・10月11日放送分）。
- 6月24日 NHK Eテレ「趣味の園芸 万葉の花」の撮影取材に井上研究員が対応、出演（8月2日・9月20日・10月11日放送分）。
- 6月30日 大谷研究員が離任。
- 7月3日 井上研究員が一般展示室案内動画「万葉文化館ご案内一万華鏡トンネル編一」を作成し、館公式YouTubeチャンネルにおいて公開。
- 7月4日 青柳正規奈良県立橿原考古学研究所長一行が来館、井上研究員が館内を案内。
- 7月7日 竹内研究員が飛鳥池遺跡案内動画「万葉文化館ができるまで～空から見てみよう～」を作成し、館公式YouTubeチャンネルにおいて公開。
- 7月12日 美夫君志会常任理事会（リモート開催）に、井上研究員が出席。
- 7月14日 館蔵古典籍の撮影を実施（17日まで）。
- 7月19日 全国大学国語国文学会代表委員会（リモート開催）に、井上研究員が出席。
- 7月22日 文化資源活用課主催の「万葉文化館ありかた検討会」委員一行が来館、井上研究員・竹内研究員が館内を案内。
- 7月29日 NHK BSプレミアム「英雄たちの選択」の撮影取材に井上研究員が対応、出演（9月23日放送）。
- 7月30日 南河内シニア文化塾主催講座（会場：すばるホール）において、井上研究員が「『万葉集』のなかの河内」と題して講演。
- 8月5日 講座「日本書紀をよむ」（会場：万葉文化館）で、竹内研究員が「崇峻～推古紀 倭国の国際化と文明化」を講義。
- 8月6日 会計監査委員一行が来館し、井上研究員が館内を案内。
- 8月9日 こども向けイベント「万文たんてい団」（会場：万葉文化館）で、井上研究員が「『万葉集』のなぞ」と題して一般展示室謎解きツアーを実施。
- 8月16日 こども向けイベント「万文たんてい団」（会場：万葉文化館）で、竹内研究員が「古代の遺跡のなぞ」と題して飛鳥池工房遺跡復原遺構を現地案内。
- 8月19日 講座「日本書紀をよむ」（会場：万葉文化館）で、井上研究員が「舒明～天智紀 初期万葉の背景」を講義。
- 8月22日 奈良教育大学主催ESD研究会（リモート開催）に井上研究員・竹内研究員が参加。井上研究員が「万葉集の基礎知識」と題して講演。続いて行われたグループ討論、質疑応答などに竹内研究員が参加。
柏原市立歴史資料館主催・三郷町教育委員会共催の文化財講演会（会場：柏原市立歴史資料館）において、井上研究員が「万葉歌と龍田道」と題して講演。※三郷町教育委員会主催「みさと万葉学習会」8月分を兼ねる。
- 8月27日 大阪市立歴史博物館の展覧会検討会（会場：大阪市立歴史博物館）に、井上研究員が外部協力員として出席。
- 9月2日 講座「日本書紀をよむ」（会場：万葉文化館）で、竹内研究員が「天武紀 律令体制の出發」を講義。
- 9月6日 第7回主宰共同研究「古代日本の思想文化に関する学際的研究—『万葉集』にみる」

- の第1回共同研究会を開催(会場:万葉文化館)。井上研究員が「万葉歌に詠まれた古代寺院」、竹内研究員が「吉野比蘇寺について」と題して研究発表。続いて、三舟隆之氏(東京医療保健大学教授)、山口敦史氏(大東文化大学教授)、遠藤慶太氏(皇學館大學教授)ら共同研究員を交えて質疑応答。
- 9月7日 第7回主宰共同研究「古代日本の思想文化に関する学際的研究—『万葉集』にみる」の第2回共同研究会を開催。吉野比蘇寺跡(大淀町世尊寺境内)および壺阪寺の現地踏査を実施。比蘇寺跡では松田度氏(大淀町教育委員会学芸員)による遺跡の説明を受けた。井上研究員・竹内研究員および共同研究員3名が参加。
- 9月13日 美夫君志会常任理事会(リモート開催)に、井上研究員が出席。
日本文学協会委員会(メール稟議)に、井上研究員が参加。
- 9月16日 講座「日本書紀をよむ」(会場:万葉文化館)で、井上研究員が「持統紀 飛鳥から新益京へ」を講義。
- 9月19日 第17回公開シンポジウム「古代文化の Re:Creation ~記紀万葉をアニメ・マンガで描こうとしてみた~」を開催(会場:万葉文化館)。第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」(平成30・31年度実施、研究代表者:橋本裕之氏)の成果報告として実施。橋本氏のキーノートスピーチ「記紀万葉をアニメ・マンガで描こうとしてみた」に続き、プレゼンテーションとしてもかわらゆみ氏(イラストレーター)の「短編アニメの可能性を模索してみた」、みしまゆかり氏(イラストレーター)の「短編マンガの可能性を模索してみた」、坂本大紀・山崎莉羽両氏(奈良県立西の京高等学校卒業生)の「高校生も企画に挑戦してみた」、岡本健氏(近畿大学准教授)の「コンテンツツーリズムから考えてみた」、寺谷圭生氏(アニメツーリズム協会理事兼事務局長)の「古代文化で人を呼ぼうとしてみた」を行い、橋本氏の司会によるクロストークを実施。会場では作品の展示も実施(しもかわら氏・みしま氏・岡本氏はリモート参加)。
- 9月21日 全国大学国語国文学会代表委員会(リモート開催)に、井上研究員が出席。
- 9月25日 万葉を愛する会主催の秋季現地講座(会場:Hotel&Resorts NAGAHAMA)において、井上研究員が「東近江から若狭へ—史跡と万葉歌の舞台を巡る—」と題して講演。
- 9月26日 一般展示室・特別展示室・映像ホールの再開に伴い、一般展示室「さまざまな万葉集」の展示替え(9月26日~12月9日)。「有間皇子事件」に関連する『万葉集』『日本書紀』版本を展示。
- 10月1日 阪口由佳主任研究員(以下、阪口研究員)が着任。
- 10月3日 特別展「マンガで語る古代大和Ⅲ 持統天皇をめぐる物語」を開催(10月3日~11月29日)。安永学芸員の主導、染田学芸員の協力により、展示企画および図録執筆を井上研究員・竹内研究員・大谷<元>研究員・吉原<元>研究員が分担して担当。会期中に安永学芸員・井上研究員・竹内研究員によるギャラリートークを随時実施。
- 10月4日 東京都中央区主催・奈良まほろば館共催の「中央区民カレッジ」(会場:奈良まほろば館)において、井上研究員が「はじめて読む『日本書紀』」と題して講演。
- 10月10日 講座「万葉集をよむ」(令和2年3月18日分の振りかえ)で大谷歩氏(追手門学院大学特任助教・元当館主任研究員)が「幼子・古日の死(904~906番歌)」を講義。
- 10月16日 三郷町教育委員会主催のみさと万葉学習会(会場:三郷町立図書館)において、竹内

『万葉古代学研究年報』第19号 彙報（令和2年1月～12月）

- 研究員が「藤原京の造都とその歴史的意義」と題して講演。
- 10月17日 奈良教育大学主催 ESD 研究会（リモート開催）に、井上研究員・阪口研究員が出席。美術講演会のため来館した里中満智子氏に、安永学芸員・井上研究員・竹内研究員が特別展「マンガで語る古代大和Ⅲ 持統天皇をめぐる物語」を案内。
- 10月20日 美祢市教育委員会主催の第15回史跡長登銅山跡調査及び整備委員会（会場：長登銅山文化交流館）に竹内研究員がオブザーバーとして出席。
- 10月21日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、井上研究員が「養老七年の吉野行幸歌群（907～916番歌）」を講義。
- 10月23日 第7回主宰共同研究「古代日本の思想文化に関する学際的研究—『万葉集』にみる」の現地調査を実施（24日まで）。竹内研究員および共同研究員2名（三舟氏・遠藤氏）により寺町廃寺発掘調査現場などを見学。
大阪市立歴史博物館の展覧会検討会（会場：大阪市立歴史博物館）に、井上研究員が外部協力員として出席。
- 10月30日 NPO 法人のべおか天下一市民交流機構主催の「のべおか城下町能楽のまちづくり だれでも参加できる市民講座」（会場：延岡市民協働まちづくりセンター）において、井上研究員が「『源氏物語』と和歌」と題して講演。
- 11月1日 奈良県・PFI 奈良賑わいと交流拠点株式会社主催の「奈良コンベンションセンターまちびらきイベント 特別講演会」（会場：奈良コンベンションセンター）において、井上研究員が「平城京と『万葉集』」と題して講演。
- 11月2日 古事記学会編集委員会（リモート開催）に、井上研究員が出席。
- 11月8日 美夫君志会常任理事会（リモート開催）に、井上研究員が出席。
- 11月12日 三重放送制作「ええじゃないか。」の取材に井上研究員・阪口研究員が対応。
- 11月13日 NHK E テレ「趣味の園芸 万葉の花」の撮影取材に竹内研究員が対応、出演（12月13日放送、15日・17日再放送）。
三郷町教育委員会主催のみさと万葉学習会（会場：三郷町立図書館）において、阪口研究員が「万葉集の「心」と「胸」」と題して講演。
- 11月14日 奈良教育大学主催 ESD 研究会（リモート開催）に、井上研究員・阪口研究員が出席。
- 11月17日 大阪市立歴史博物館の展覧会検討会（会場：大阪市立歴史博物館）に、井上研究員が外部協力員として出席。
- 11月18日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、竹内研究員が「玉津島にて（917～919番歌）」を講義。
- 11月23日 日本書紀編纂1300年記念シンポジウム「『日本書紀』編纂1300年—歴史と文学と」（会場：万葉文化館）を開催。細井浩志氏（活水女子大学教授）が「『日本書紀』編纂と持統天皇一天変よりみたその編纂過程」、渡邊卓氏（國學院大學准教授）が「『日本書紀』にみる災異・祥瑞と祭祀」と題して基調講演を行い、続いて井上研究員・竹内研究員を交えて座談会を実施。
- 11月28日 古事記学会理事会（リモート開催）に、阪口研究員が出席。
- 12月6日 奈良県東京事務所主催の講演会「『万葉集』とその時代」（会場：奈良まほろば館）において、竹内研究員が「藤原京の造都過程—天武・持統二代にわたる都づくり」、井上研究員が「持統天皇歌をめぐって」と題して講演。

- 12月10日 三重放送制作「ええじゃないか。」の撮影取材に阪口研究員が対応、出演（奈良テレビ2月4日放送）。
- 12月11日 一般展示室「さまざまな万葉集」の展示替え（12月12日～2月28日）。「聖徳太子の片岡遊行」に関連する『万葉集』『日本書紀』版本を展示。
- 12月12日 特別展「万葉の起憶一偉人たちがしたための万葉歌碑原書を中心に」を開催（12月12日～2月28日）。安永学芸員・染田学芸員の主導により、展示企画を井上研究員・竹内研究員・阪口研究員が分担して担当。
- 12月13日 第85回「万葉古代学講座」（会場：万葉文化館）で、井上研究員が「「持統天皇」像の諸相」と題して講演。
- 12月17日 講座「万葉集をよむ」（会場：万葉文化館）で、阪口研究員が「笠金村・山部赤人の吉野行幸歌（920～926番歌）」を講義。
- 12月19日 東アジア比較文化国際会議日本支部理事会（リモート開催）に、井上研究員が出席。
- 12月22日 奈良芸術短期大学主催の講座「明日香学」（会場：奈良芸術短期大学）において、井上研究員が「明日香と万葉一飛鳥宮から藤原京へ」と題して講義。

◆研究員業績一覧

【井上 さやか】

[研究論文]

- 「万葉歌に詠まれた神名」（『万葉古代学研究年報』第18号）、令和2年3月
- 「記紀神話と欧文挿絵本」（『万葉古代学研究年報』第18号）、令和2年3月
- 「「持統天皇」像の変遷 —『万葉集』から『天上の虹』まで—」（『マンガで語る古代大和Ⅲ 持統天皇をめぐる物語』）、令和2年10月

[研究発表]

- 「額田王の歌—春秋争い—」（美夫君志会2月例会）、令和2年2月9日

[書評・評論など]

- 「奈良県立万葉文化館蔵『萬葉集書緝籠』解題」（『万葉古代学研究年報』第18号）、令和2年3月
- 「研究手帳 さまざまな「持統天皇」像」（『いずみ通信』2020-9号、和泉書院）、令和2年9月
- 「『万葉集』への誘い」（入江泰吉記念奈良市写真美術館編『入江泰吉の詩情世界 万葉大和路』光村推古書院）、令和2年9月
- 「「～令和を想う～現代日本画家が描く万葉のころ」によせて」（『新見美術館開館30周年記念特別展Ⅲ 奈良県立万葉文化館蔵～令和を想う～現代日本画家が描く万葉のころ』図録、新見美術館）、令和2年9月
- 「いますぐ行きたいミュージアム／奈良県立万葉文化館」（『淡交』第74巻第9号〔通巻924号〕、株式会社淡交社）、令和2年9月
- 「新刊紹介 松田浩氏・上原作和氏・佐谷眞木人氏・佐伯孝弘氏編『古典文学の常識を疑うⅡ 一縦・横・斜めから書きかえる文学史』」（『美夫君志』第101号、美夫君志会）、令和2年10月
- 「新刊紹介 辰巳正明氏著『大伴旅人 「令和」を開いた万葉集の歌人』」（『美夫君志』第101号、美夫君志会）、令和2年10月

[その他]

- 「はじめての万葉集 vol.69 川島皇子と山上憶良」（『県民だより奈良』2020年1月号〔第403号〕、

奈良県広報広聴課、令和2年1月

「『万葉集』と「令和」」（万葉文化館ファンクラブ通信「とぶとり」第2号）、令和2年1月1日

「万葉歌人の愛した花たち」（『花と野菜の園芸カタログ』2020年春号、株式会社大和農園）、令和2年1月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年1月29日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年2月19日）

「万葉文化館第6回主宰共同研究概要報告」（『万葉古代学研究年報』第18号）、令和2年3月

「はじめての万葉集 vol.72 泣沢の女神」（『県民だより奈良』2020年4月号〔第406号〕、奈良県広報広聴課、令和2年4月

「万葉 花のうた 第1回 サクラ」（NHK『趣味の園芸』2020年4月号〔通巻565号〕、NHK出版）、令和2年3月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年5月20日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年6月3日）

「万葉歌人の愛した花たち」（『花と野菜の園芸カタログ』2020年秋号、株式会社大和農園）、令和2年6月

「万葉文化館ご案内一万華鏡トンネル編一」動画（YouTube 奈良県立万葉文化館 ch.）、令和2年7月

「はじめての万葉集 vol.75 蘿生せる松の柯」（『県民だより奈良』2020年7月号〔第409号〕、奈良県広報広聴課）、令和2年7月

「万葉 花のうた 第5回 キキョウ」（NHK『趣味の園芸』2020年8月号〔通巻569号〕、NHK出版）、令和2年7月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年7月15日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年7月29日）

「万葉 花のうた 第6回 ハギ」（NHK『趣味の園芸』2020年9月号〔通巻570号〕、NHK出版）、令和2年8月

「はじめての万葉集 vol.77 名に負ふ背の山」（『県民だより奈良』2020年9月号〔第411号〕、奈良県広報広聴課）、令和2年9月

「万葉 花のうた 第7回 ナデシコ」（NHK『趣味の園芸』2020年10月号〔通巻571号〕、NHK出版）、令和2年9月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年9月30日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年10月14日）

展示品解説（分担執筆）（『特別展 マンガで語る古代大和Ⅲ 持統天皇をめぐる物語』図録、奈良県立万葉文化館）、令和2年10月

「はじめての万葉集 vol.79 妹が家も継ぎて見ましを」（『県民だより奈良』2020年11月号〔第413号〕、奈良県広報広聴課）、令和2年11月

【大谷 歩】 令和2年6月30日離任

[研究論文]

「久米禅師と石川郎女の贈答歌」（『万葉古代学研究年報』第18号）、令和2年3月

「古代日本庭園と神仙世界—〈イメージ〉と〈見立て〉による文学表現—」（『万葉古代学研究年報』第18号）、令和2年3月

『万葉古代学研究年報』第19号(2021年)

『日本書紀』よりみる『懐風藻』の文学史(『特別展 マンガで語る古代大和Ⅲ 持統天皇をめぐる物語』
図録、奈良県立万葉文化館)、令和2年10月(研究員在任中に執筆)

[調査報告]

「夜籠もり」の習俗にみる秋田県金澤八幡宮の「掛唄」の性格—奈良県立万葉文化館・一般展示室「日
本とアジアの歌」における基礎調査Ⅱ—(『万葉古代学研究年報』第18号)、令和2年3月

[書評・評論など]

「奈良県立万葉文化館蔵 菅橋彦「大伴旅人卿羨酒壺」解題」(『万葉古代学研究年報』第18号)、令
和2年3月

[その他]

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和2年1月15日)

「はじめての万葉集 vol.71 藤原宮への祝福」(『県民だより奈良』2020年3月号〔第405号〕、奈良
県広報広聴課、令和2年3月)

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和2年4月1日)

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和2年4月15日)

「万葉 花のうた 第2回 フジ」(NHK『趣味の園芸』2020年5月号〔通巻566号〕、NHK出版)、令
和2年4月

「万葉 花のうた 第3回 カキツバタ」(NHK 趣味の園芸 2020年5月号〔通巻566号〕、NHK出版)、
令和2年4月

『万葉集』って何だろう?—初級編—(万葉文化館HP 子ども向け解説シート)、令和2年5月

「万葉 花のうた 第4回 ユリ」(NHK 趣味の園芸 2020年6月号〔通巻567号〕、NHK出版)、令和
2年5月

「はじめての万葉集 vol.74 ホトトギスの声」(『県民だより奈良』2020年6月号〔第408号〕、奈良
県広報広聴課)、令和2年6月

「こころの古郷」(万葉文化館ファンクラブ通信「とぶとり」第4号)、令和2年6月30日

展示品解説(分担執筆)(『特別展 マンガで語る古代大和Ⅲ 持統天皇をめぐる物語』図録、奈良県
立万葉文化館)、令和2年10月(在任中に執筆)

【吉原 啓】 令和2年3月31日離任

[研究論文・調査報告]

「天武・持統・文武天皇の富本銭発行」(『万葉古代学研究年報』第18号)、令和2年3月

「日本古代の祝詞にみる神話の視覚化構造とその普及」(『万葉古代学研究年報』第18号)、令和2年
3月

[調査報告]

「『正暦寺起縁』の基礎的検討」(『万葉古代学研究年報』第18号)、令和2年3月

[書評・評論など]

「奈良県立万葉文化館蔵『日本書紀』解題」(『万葉古代学研究年報』第18号)、令和2年3月

[その他]

「はじめての万葉集 vol.70 新しい時代へ」(『県民だより奈良』2020年2月号〔第404号〕、奈良県
広報広聴課)、令和2年2月

「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、令和2年3月4日)

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年3月18日）

「咲く花の 薫ふがごとく」（万葉文化館ファンクラブ通信「とぶとり」第3号）、令和2年3月31日

「はじめての万葉集 vol.73 「ますらを」」（「県民だより奈良」2020年5月号〔第407号〕、奈良県広報広聴課）、令和2年5月（在任中に執筆）

【竹内 亮】 令和2年4月1日着任

[研究論文]

「藤原京の造都とその歴史的意義」（『特別展 マンガで語る古代大和Ⅲ 持統天皇をめぐる物語』図録、奈良県立万葉文化館）、令和2年10月

[研究発表]

「吉野比蘇寺と山林修行」（聖地・霊場の成立についての分野横断的比較研究 2020年度第1回研究会）、令和2年11月20日

[その他]

「飛鳥池工房遺跡解説シート」（万葉文化館HP ことも向け解説シート）、令和2年5月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年6月17日）

「正倉院文書の探し方」（「万葉図書・情報室だより」54号、令和2年6月30日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年7月1日）

「万葉文化館ができるまで～空から見てみよう～」動画（YouTube 奈良県立万葉文化館 ch.）、令和2年7月

「はじめての万葉集 vol.76 石川夫人とは誰か」（「県民だより奈良」2020年8月号〔第410号〕、奈良県広報広聴課）、令和2年8月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年8月26日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年9月9日）

「大和の飛鳥川と河内の飛鳥川」（万葉文化館ファンクラブ通信「とぶとり」5号）、令和2年9月

「はじめての万葉集 vol.78 皇子たちの宮」（「県民だより奈良」2020年10月号〔第412号〕、奈良県広報広聴課）、令和2年10月

展示品解説（分担執筆）（『特別展 マンガで語る古代大和Ⅲ 持統天皇をめぐる物語』図録、奈良県立万葉文化館）、令和2年10月

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年10月28日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年11月18日）

「万葉 花のうた 第8回 ツバキ」（NHK 趣味の園芸 2020年12月号〔通巻573号〕、NHK出版）、令和2年11月

「はじめての万葉集 vol.80 大来皇女の孤独」（「県民だより奈良」2020年12月号〔第414号〕、奈良県広報広聴課）、令和2年12月

【阪口 由佳】 令和2年10月1日着任

[その他]

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年12月2日）

「やまと万葉がたり」（毎日新聞〈奈良版〉、令和2年12月16日）

「雪を用いた、皇子への讃歌」（万葉文化館ファンクラブ通信「とぶとり」6号）、令和2年12月